

各郡の農林事務所紹介(4)

第19号から複数回にわたり各郡で農家の助言指導につとめる郡農林事務所を特集しています。Savan PAD プロジェクトは、2021年10月現在、サバナケット全15郡の内、9郡に合計12箇所の対象地区を選定し、活動を展開しています。今回は、2019年12月から活動を開始した、サイプートン郡の農林事務所を紹介します。

サイプートン郡農林事務所

プロジェクト対象地区:クッタポー地区



サイプートン郡は、平坦な土地のため灌漑による稲作に力を入れており、ヘクタール(ha)当たり4.7トンの収量を目標値としています。郡全体の灌漑面積は全17施設で計548.39ha、その内、プロジェクト対象地区のクッタポー1箇所で109haを占めています。



サイプートン郡農林事務所
サイヤセーン副所長

クッタポー地区は、プロジェクトの協力開始後から生産性も向上しており、ついに目標値4.7トンに達しました。

さらに、ビニールハウスによる雨除け栽培の参加希望者が増えている状況からは、雨季の野菜栽培に対する農家のやる気も窺えます。

営農分野

- ・種子・肥料貸与事業はこれまで3回実施、合計64農家が参加。(対象地区の57%)
- ・貸与事業の資金も現在は順調に回収ができています。
- ・対象地区のコメ収量が27%増加した。
(2019-20年と2020-21年乾季の坪刈り調査結果比較)



全般

同郡での活動が開始されてから2年未満ですが、対象地区の農家のまともりは良く、積極的に研修に参加しています。

同郡は、県中心部からのアクセス性が良く、有名な仏塔(タートポーン)があるため、他県・他郡からの来訪者も多い地区です。

マーケティング ／園芸栽培分野

- ・対象サイトの野菜販売について、意欲のある農家が集まり、2020年9月から市場で販売を開始した。
- ・プロジェクトでは、対象サイトでボカシ作成の指導等を実施中。その都度、野菜栽培における問題点を聞き出しながら指導を行っている。

灌漑／水利組織強化分野

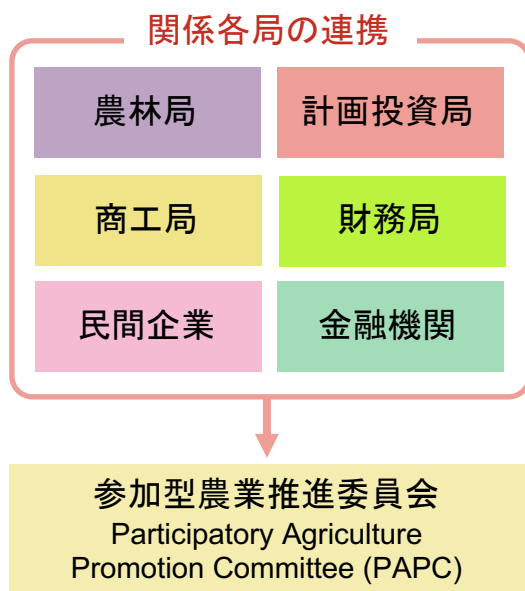
- ・対象地区の水利組織は月1回の会合を行い、問題の解決、水管理の向上に努めている。
- ・乾季の灌漑面積は、政府支援による幹線水路設置により増加している。
40ha → 109ha
(2018-19年と2020-21年乾季の比較)
- ・DAFO職員は、測量など技術習得に対する意欲が高く、積極的に学んでいる。

参加型農業推進委員会 (PAPC)

Savan PAD では、サバナケット県農林局を中心に農業分野の指導を行うほか、販売促進や計画立案、活動のための予算確保など、県内の様々な部局が協力し合って農家の活動を支援する仕組みを強化しようとしています。

この取り組みには、関連する行政機関の他、将来的には、民間企業や農業関係の融資をする金融機関なども参加することが期待されています。

こうした関係機関の協働による農家支援を実現するため、そのプラットフォームとして、「参加型農業推進委員会」が2020年9月に設立されました。



PAPC の役割と運用

PAPC は、Savan PAD が進める「参加型農業」※を、プロジェクトの協力期間終了後も、サバナケット県が県の活動として継続し、さらに普及させていくための組織です。実際の運用では、「運営委員会」が上部機関として活動全般の方向性を決定し、必要な予算申請を行い、「ワーキンググループ」が現場での活動に対して助言・指導をするとともに、活動の報告や予算計画を上部に上げます。そして、「実施チーム」が、各分野に分かれて現場での農家指導に当たります。

このように、3つのレベルで直接・間接的に農家の活動を支援することで普及拡大を図ります。

